

平成29年度 2月号



新座市立第二中学校
新座市野火止 7-17-10
電話 048-477-1212

新座二中だより

<http://www.c-niiza.ed.jp/j-daini/>

蓄えている力を存分に開花させる子どもたちをはぐくみます

校長 田村 和昭

大寒が過ぎもうすぐ立春となりますが、まだまだ厳しい寒さの毎日です。しかし、確実に季節はめぐっています。

春の訪れを告げる旧暦の正月（現在の2月）から黄金色の花を咲かせ始める福寿草は、福を呼ぶ花として日本では昔から縁起のよいものとされています。花屋で見かけた人もいたのではないのでしょうか。

花の咲く時季がとても長いので、長寿を象徴する花とも言われています。“幸福”と“長寿”を意味することから「福寿草」と呼ばれ、その愛らしさもあり季語として多くの俳人に詠まれています。

暖炉たく 部屋暖かに 福寿草
正岡 子規



かつて群馬県南牧村では梅林に福寿草が群生することから、福寿草祭が盛大に開かれていたそうです。

この地の福寿草の群生は一説によると、江戸時代に遡って、幕府軍が新政府軍に追われてこの地に逃げ込み、隠して埋めた埋

蔵金の黄金色の小判から芽を出し咲いたのだとか。幕府軍がこの地に逃げ込んだ記録は、確かに残っていますが……。

冬来たりなば春遠からじ

イギリスの詩人シェリーの「西風に寄せる歌」の一節「If Winter comes, can Spring be far behind?」に基づくことわざです。

つらい時期を耐え抜けば、幸せな時期は必ず来るというたとえでもあり、長い冬を耐えて春を待つ気持ちの表現としても用いられます。

日本人を含めて人類は、古くから冬から春にかけての季節に特別な思い入れを持っているようです。冬はつぼみのようにじっと我慢する、力を蓄える時であり、春は花開き力を思う存分発揮する時となります。

鍛錬や厳しさを自らの生き方に取り込み努力すれば、結果は必ずついてくるものであると私は考えます。

厳しい寒さがもたらす恵み

3学期始業式で、1，2年生代表生徒は話の中で「3学期は、上級生になるための0学期でもあります」と力強く述べています。

3年生は、厳しい寒さがもたらす恵みとなる自分の納得する将来のため、今が踏ん張りどころです。自分の目標に向かってベストを尽くせるよう教職員一同願っております。

二中生全員が、置かれている状況は異なりますが、健康に留意し蓄えている力を存分に開花させる準備をしっかりと進めていきましょう。